

# 労山愛知

愛知県勤労者山岳連盟機関紙

2021年1月21日発行

No. 573号 (第52期 5号)

〒454-0055

名古屋市市中川区十番町 2-8

栄和産業(株)ビル 2F

TEL/FAX 052-654-1411

<http://aichirousan.web.fc2.com/>

## 若駒山岳会 冬合宿報告



2020年12月27日の夜から30日まで、冬合宿で爺ヶ岳の東尾根に行ってきました。

事前の天気予報では、年末から年始にかけて、強い冬型の気圧配置となり寒波が襲来、特に日本海側では荒れる予報もあり、縦走ではなく、爺ヶ岳の中峰ピストンの計画を立てました。アタックができそうなのが、29日と予想し、当初の予定を1日繰り下げて出発しました。またベースキャンプも下山日の悪天を見越して、当初の予定より低いところに設営するなど、最近の精度の高い天気予報をフル活用しました。(次頁につづく)

《目次》	若駒山岳会 冬合宿報告	1
	あたらしい年の始めに	2
	県連盟第53期総会の案内	2
	第52期 第12回理事会報告	2
	第52期 第13回理事会報告	3
遭対部	1月15日(金)52期第5回遭対担当者会議の報告	3
教育部	1/14(木)第5回教育担当者会議を開きました	5
自然保護部	第6回自然保護部会を開催しました	5
	第53期登山学校、2021年4月4日から開講	6
	カレンダー	8

(表紙からのつづき) 結果からいうと、予想どおり、29日は朝から晴れのよい天気でしたが、主稜線上は雪煙の舞う、まともに歩けないような強風で、あと200mほどを残したところで敗退しました。

それはそれで残念でしたが、若い会員の良い経験になったのではないかと、思います。

私たちは、通常の山行はそれぞれが好みの山行を行い、合宿ではテーマを意識して取り組んでいます。ここ最近入会した会員は、一昨年、昨年と南アルプス、中央アルプスで冬合宿を組み、今回は入門ルートながら、冬の北アルプスを経験しました。最近、インターネットでたくさんの記録に接することができ、事前に膨大な情報を得ることができますが、冬山はやはり実際に体験してみることが何より大事です。暖冬の影響でトレーニング山行もままならないなどハンデもありますが、失敗も糧にしてステップアップしてほしいと思います。また合宿の参加は一部の会員にとどまりましたが、参加会員の経験が、会の中にもうまく蓄積していけば、と願っています。(若駒山岳会 蜂須賀)

## あたらしい年の初めに

あけましておめでとうございます。昨年は新型コロナウイルス感染症が世界、日本中に広がり、対策に追われた一年でしたが、今年もコロナウイルス感染との対策が求められる年になりそうです。日本国内でも予防接種が始まりコロナウイルス感染が収まることを願うばかりです。登山の世界においても、密閉・密集・密接の三つの「密」を避ける行動が求められて来ました。山小屋での感染対策、少人数での行動、ソロテントの推奨、マスクをしての登山、などが言われ、本来、自然の中で日常生活から解放され、楽しむところにも感染対策などが求められています。2021年は、先行きは不透明ですが、これからの新しい登山の様式を作っていく年の始まりになると思います。今年、積雪の多い年になりそうです。事故に注意して安全第一の登山を心がけてください。また、県連盟として一番の課題である組織数において、一刻も早く1000名の県連盟を回復していくために、各会、連盟員の皆さんと共に、頑張りたいと思います。

理事長 佐藤和男

## 県連盟第53期総会の案内

第53期総会は年間計画通り3月7日(日)を予定しています。会場はグリーンパレス春日井(春日井市落合公園)を予定しています。会場は総会参加予定者数の約2倍を確保していますが、今後の新型コロナ感染拡大によりどのような状況になっていくのかは予断を許しません。会場の貸し出し停止などの事態も想定されますので、今後の理事会からの案内やメールでの連絡には注意されるようご案内します。

## 第52期 第12回理事会報告

2020年12月26日(土)9時～17時00分

出席者：■森(東三河) □佐藤・■田中(あつた)、■井土(東海) ■榊原(ありんこ)、  
■河村(春日井) □廣田・□吉川・■樋口(同志会)・■森本(半田F)、■井川・□中根  
(ふわく)、■日高(スルジェ)、■安江(ASC) ■西尾・■吉田(くらら)、  
■山本(みどり)、■東田(犬山マップ)、■佐伯(かわせみ)、□森(じねんじょ)、  
(アリス)(ちんぐるま)(親子)(低い山)(山歩会)(若駒) ■は欠席連絡者  
司会=佐藤 議事録=森

## 1. 報告事項

- 事務局—— 1) 労山愛知 第573号——1月16日(土)原稿締め切り、19日(火)発信予定。  
1月21日(木)県連事務所で印刷  
佐藤会長新年挨拶、若駒冬合宿写真掲載予定  
来期の登山学校の募集要項の掲載予定。  
専門部報告①遭対部②教育部③組織部④女性部⑤自然保護部
- 2) 理事会資料の配布—欠席したら、棚に入れて置くので確認をお願いします。
- 3) 各規定(案)の小委員会—12月28日14時開催予定。  
進め方、規定、規則、細則の整理、次回総会に報告予定。
- 4) 来期総会の準備—グリーンパレス春日井予約済み。
- 5) 市邨学園から、安全に登山を楽しむ為の基礎知識講座依頼に講師の派遣受理
- 全国連盟——組織数報告 11月末—別紙
- 財政—— 12月末仮締め、1月7日理事会に報告、各部、未払い金請求すること。  
自然保護部—次回1月14日部会予定。佐藤さんまで清掃山行報告して下さい。  
女性部—次回1月14日部会予定。  
教育部—次回1月14日部会予定。  
コーチ会議の位置付けと、コーチ料について。各山岳会の県連への要望。  
クライミングチームの結成。
- 遭難対策部—次回1月25日部会予定。労山愛知に、事故報告掲載有り。
- 組織部——組織担当者会議 次回1月28日予定。  
来期の各会代表者交流会は、コロナ禍絡みで日程は未定とする。  
HPの管理状況—労山愛知の掲載作業以外は、東田理事に依頼。  
その他、日程—理事会—1月7日(木) 1月21日(木)  
1月25日資料集締め切り 会計監査は、日程調整する。

## 2. 懸案・審議 事項

- 1) 総会に向けての懸案事項、各部の報告、方針  
年間カレンダーの作り方  
基本的には理事会は、第三木曜日とする。総会、代表者会議の前には、随時行う。

# 第52期 第13回理事会報告

2021年1月7日(木)19時30分～21時30分

出席者：■森(東三河) □佐藤(あつた)、■井土(東海) ■榊原(ありんこ)、■河村(春日井)  
□廣田・□吉川・■樋口(同志会)・□森本(半田F)、□井川・□中根(ふわく)、  
■日高(スルジェ)、■安江(ASC) ■西尾・□吉田(くらら)、  
■山本(みどり)、■東田(犬山マップ)、□佐伯(かわせみ)、■森(じねんじょ)  
■(アリス)(ちんぐるま)(親子)(低い山)(山歩会)(若駒) ■は欠席者  
司会=佐藤 議事録=森本

## 1. 報告事項

- 佐藤理事長 — 理事長より新型コロナ禍の感染拡大時、各会活動の問い合わせがありました。  
同志会：例会を停止した。他会：通常通り。
- 事務局 — 1) 労山愛知 第573号：原稿 1月16日、必着。  
1月19日(火)送付(WORD/PDF)予定。  
2) 第1回規程等準備委員会(12月18日開催)開催報告。

委員会名称を前記の様にした。会計処理規程(案)、役員選出に関する規程(案)の読み合わせを行い、一部字句を訂正した。

役員選出に関する規程(案)は一部理事会の意見を聞き、訂正等する。成案としてまとめ理事会に提出して審議する。

3) 来期総会 3月7日(日)の準備。

- ・総会会場：「グリーンパレス春日井」とし、下見の日程を立てる。
- ・議事、各部案検討：1月21日(木)検討、成案としてまとめる。
- ・来年度の活動カレンダー作成：各部の予定提出依頼、進行中。
- ・総会資料 2月25日(木)取り揃え、印刷の準備をする。

4) 全国連盟への11月末の組織数を報告終了済です。

財政部 — 52期の決算12月末仮締めとして、1月7日報告しました。  
各会の連盟費1/4期の入金はまだ、全国連盟への分担金は、振り込み済。  
次回理事会まで、精査して再検討します。

女性部 — 都合により欠席。(新型コロナの影響による)

教育部 — 都合により欠席。(新型コロナの影響による)

遭難対策部 — 1) 1月15日(金)冬山合宿遭難報告会議を開催する。  
冬合宿実施会は、若駒山岳会のみ。

2) 積雪期訓練 机上開催：1月28日(月)19:30より  
実技：1月31日(日)御在所岳裏道付近予定。

組織部 — 1) 組織担当者会議日程 1月28日(木)開催します。

2) 各会代表者交流会：来期予定、コロナ禍にて未定です。

3) HPの管理状況。古い情報の精査が必要検討を要する。

## 2. 審議 事項

- 1) コロナ禍での県連活動の見直し。
- 2) 第52期総会議案の内、第2号議案の再提案の内容について、
- 3) 会計年度変更などの提案について。
- 4) 組織数の拡大と各会活動の活性化。
- 5) 来年度以降の清掃登山の方向性について。
- 6) 予算案作成について、

## **遭対部 1月15日(金)第52期第5回遭対担当者会議の報告**

2021年1月15日(金)19:30から第5回遭対担当者会議を開き、8山岳会9名が参加しました。

【出席者】波多野、神谷(ASC)、室岡(じねんじょ)、洞井(半田)、西尾(くらら)、  
廣田(同志会)、小野塚(犬山)、森(東三河)、佐藤(あつた)

議題1. 52期活動報告・53期活動方針について話し合いました。

第52期2020年4月に出版された山岳4団体の山岳スポーツ愛好家への登山に対する自粛要請がある中でも、山に行けば登山者は多くいる。鈴鹿の山でも普通では考えられない時間に登り、道迷い遭難も起きている。

県連での事故報告については、何時から何時までの間にどういう形で事故があったのかの分析が必要。

合宿においては、県連の中で、多くの会が取り組むことが出来なかったが、合宿がなくても山に行っている現状がある。

確保技術講習会については、この時期にやる必要があると遭対担当者会議で各山岳会が確認して各担当者が呼び掛けてきた。オンラインで受講することも含めて参加もあった。各会で事前にロ

ープワークを含めレクチャーして参加してきた。事故事例集については、一定部数を残して、配ったかどうかなどの意見がありました。今回の遭対担当者会議で出された意見を反映して遭対部の報告・方針案を充実させたいと思います。

議題2.積雪期救助訓練については、第3波の緊急事態宣言が出され、20時以後の外出の自粛要請が出され、遭対担当者会議に参加している山岳会の中でも、規制をしている会も少なくなく例会の場所も20時以後使えなく、会合を開くことが困難。こうした中では、積雪期救助訓練の延期も仕方ないと判断して1/25日の机上講習を2/8(月)に延期。実技は1/31日を2/21(日)に延期を決めましたが、状況を見て実施するかの判断をしたいと思います。

議題3. 合宿報告

冬山合宿を実施した山岳会は若駒山岳会1件のみです。

12/27(日)～30(水) 爺ヶ岳東尾根 メンバー3名

## **教育部 1/14(木) 第5回教育担当者会議を開きました**

日時：1月14日(木) 19時30分～ (Zoom会議)

参加者：半田F(新海)、あつた(谷本)、同志会(吉川、廣田)、犬山マップ(東田)、みどり(澤田)、ありんこ(榊原) 計6山岳会 7名

(1) 第4回教育担当者会議、理事会の報告

- ① コーチ会議の位置づけを明確にしてもらうように提案した件は、理事会で他の県連の登山学校の運営体制を調査し、コーチ会議の位置づけを検討していくこととなりました。
- ② 「各会が県連教育部にどのような活動(各会への支援等)を望んでいるか」は、来期の教育部の活動の中で実践していくこととなりました。
- ③ クライミングチーム(仮称)の結成の件は、大々的にスタートするのではなく、スモールスタートで実施していくこととなりました。

(2) 第53期総会議案について

第53期総会議案(教育部)のたたき台を確認し、意見交換をしました。指摘を受けたところを修正して、理事会へ提出することとなりました。

(3) 2/7の交流山行について

コロナ禍の状況ですが、愛知・岐阜に緊急事態宣言が出され、三重についても県独自の宣言が出されました。このような状況では2/7の交流山行はできないと確認し、中止としました。

## **自然保護部 第6回自然保護部会を開催しました**

日時：2021年1月15日(木) 19:30～

場所：県連事務所

参加者：福田(スルジェ)、太田(春日井峠)、山越(若駒)、塚原(かわせみ)、高津(ふわく)、大倉(くらら)、高木、佐藤(あつた) 7山岳会8名

第52期の活動報告 53期の活動方針について議論をしました。

コロナ禍の中で鈴鹿山系清掃登山が中止になり、秋の各会合同清掃登山が人数の制限があっても、8山岳会で感染対策をして実施できたのが大きな成果。

ハルザキヤマガラシについては、51期は悪天のため中止、52期はコロナ禍の中で中止して2年間行われていないことや、駆除の時期、方法についても一度、専門家等に聞く必要があるのではなどの意見がありました。

また県連の自然保護活動として、清掃登山以外の取り組みが出来なかったことの反省もありました。第53期についてもコロナウイルス感染の終息が見通せない中ですが、鈴鹿山系清掃登山、ハルザキヤマガラシの駆除、各会合同清掃登山等を取り組んで行きたい。

# 愛知県勤労者山岳連盟第53期登山学校 2021年4月4日から開講

愛知県勤労者山岳連盟第52期登山学校を、下記の2コースで開校します。

**マウンテナリング・コース**は、山を歩くための生活・行動技術、パーティーとしての基本的な行動や考え方を学び、安全な登山の総合的な力量を身につけます。

**クライミング・コース**は、登攀具の初歩的な使い方から岩登りの技術、安全についての理解と認識を高めていきます。

登山の基本的な知識・技術を体系的に学び、「連れていってもらおう」登山者ではなく、総合力を身につけた自立した登山者になることをめざします。多くの仲間の受講を呼びかけます。

1 定員 マウンテナリング・コース、クライミング・コース ともに 15名

## 2 応募資格、申し込み方法

資格は特に限定しませんが、学ぶ意欲、体調管理ができること、きちんと歩く力があること。

(実技の前に課題を配布しますので、ロープワークなどは予習のこと)。

労山基金に10口加入していること。(安全対策基金を活用し、開催されています)

入校申込書兼推薦書に必要事項を記入し、下記まで申し込んでください。

(必ず所属山岳会の会長が推薦状を記載し、県連へメールで申し込んで下さい)

【申し込み先】 愛知県勤労者山岳連盟 登山学校事務局 [tozangakko@gmail.com](mailto:tozangakko@gmail.com)

3 受講料 各コースとも 33,000円 (机上講習、実技講習代、テキスト代を含む。実技講習にかかる交通費、装備等は各自別途実費負担) ※クライミング装備をそろえるのにお金がかかります。理論講座を受講してから購入するようにしてください。あわてて買ってしまわないこと。

4 カリキュラム \*基本的に、遅刻、欠席は認めません。 \*宿泊を伴う実技等の開催は、状況に応じ対応

【理論講座 (マウンテナリング、クライミング共通)】

開 講 日	テーマ ( )内は講師	講 習 内 容
2021年 4月4日(日) 8:30~16:30	労山運動の理念 ①登山の動機と意義②組織論/ ③遭難事の防止/ ④自然保護 登山の計画~下山まで ①計画書の意味/装備と食糧 ( )	開校式を兼ねています。何気なく山に登っている自分をまず見つめてみましょう。登山者として必要な「山に入る姿勢」と「なぜ山に登るか?」を考えます。 また計画書の重要性を通して、自分が所属している山岳会の意味や登山の危険と安全、その防止のための登山の基礎的な知識やルールなど登山の基本について考えます。
4月5日(月)	岩登りの基礎 I ( )	岩登りについての考え方、具体的・基本的な知識、用具の解説、ロープワークについて学びます。
4月12日(月)	岩登りの基礎 II ( )	岩の登り方・確保の方法についての注意点など、クライミングにおける技術とルール、その実際を理解します。
4月19日(月)	登山の計画~下山まで ②生活・行動技術 ( )	山での生活の基本、行動上の注意点、歩き方や危険箇所の判断・通過の仕方などについて学習します。
4月26日(月)	パーティー論・リーダー論 ( )	パーティーが安全に登り、確実に下山できるようにリーダーやメンバーが果たすべき役割と責任は?
5月10日(月)	地図の読み方・使い方 ( )	地図の実践的な使い方、読み方を学ぶとともに、計画書作成に不可欠な概念図の書き方について学習します。
5月17日(月)	気象 I ( )	天気図と山の天気的基础を学びます。天気予報だけではわからない、気象のあれこれが見えてきます。

5月24日(月)	気象Ⅱ ( )	天気図が書けるだけでなく読めることが必要です。天候の予測、次の行動の判断ができるようになるかな？
5月31日(月)	沢登りの基礎 ( )	岩登り、生活・行動技術など総合的な力を要求される沢登り。その装備や技術について学びます。
6月7日(月)	確保技術講習会(机上) ※県連遭対部行事( )	岩登りや沢登りに不可欠な確保技術。正確な知識と安全な確保とはどのようなものか、を学びます。
6月14日(月)	無雪期救助訓練(机上) ※県連遭対部行事( )	県連の救助訓練に参加します。山行中に起きた事故を想定した救助の基礎的で実践的な知識と技術を学びます。
6月26日(土)	救急救命法 ※県連遭対部行事( )	ファーストエイド。山行中のアクシデントや疾病に対処できる実践的な知識・技術を学びます。
6月21日(月)	体力・トレーニング論 ( )	登山に必要な体力づくりを効果的におこなう方法を学びます。日常的に実践できるようになりましょう。
6月28日(月)	登山の危険と安全対策 ( )	山では危険のあることを知り、安全な登山をしていくことは登山者の責任。事故事例を検証し、他に学ぶことで、どうしたら安全な登山ができるかを考えます。

【実技】 M：マウンテニアリングコース、 C：クライミングコース、 MC：両コース共通

実施日程	区分	山域(予定)	備考
4月17-18日(日)	MC	南山(豊田)ゲレンデ	テント泊。基本の「き」を学ぶ
4月25日(日)	C M	南山(豊田)ゲレンデ 鈴鹿・烏帽子岳(予定)	いよいよ、岩場で実践 山歩きのおもしろさを実感
5月16日(日)	C	鈴鹿・藤内壁	岩登りの基本を反復しながら確認
5月22-23日(土・日)	M	鈴鹿南部(未定)	幕営・生活技術を習得する
5月30日(日)	C	鈴鹿・藤内壁	岩登りの基本を反復しながら確認
6月13日(日)	C	鈴鹿・藤内壁	岩登りの基本に習熟する
6月20日(日)	MC	比良(予定)	確保技術講習会実技 ※県連遭対部行事
6月27日(日)	MC	鈴鹿・藤内壁周辺	救助訓練 ※県連遭対部行事
7月3-4日(土・日)	MC	鈴鹿周辺(予定)	1日目読図、2日目沢登り
8月22日(日)	C M	鈴鹿・藤内壁 中央ア・烏帽子岳	研修山行を見据えた実技
8月28-29日(土・日)	M	八ヶ岳	研修山行 ※8月23日(月)打合わせ
9月4-5日(土・日)	C	八ヶ岳・阿弥陀南稜～小同心・中山尾根(予定)	研修山行 ※8月23日(月)打合わせ

## 登山学校の理論講座は、登山会員なら誰でも受講可能です。(一講座500円)

「学びたい!」と思う講座をチョイスして聞くことができます。この機会を有効に使いましょう! 有料ですが、なかなか普段、会では学べない内容の講座をラインナップしています。

講座当日、19時半までに県連事務所へどうぞ! 県連登山学校のテキストも、希望者には頒布(1000円)しています。当日の講師の補足資料(受講者に配布)とあわせて利用してください。

【編集後記】世間は自粛モードで、「県をまたぐ移動は・・・」ということなので、こんな時じゃないとなかなか行かないような県内の山を楽しんでいます。年末以降かなり気温が低く、県内の山でもまあまあ雪があり、樹氷も見れて綺麗です。(事務局 井土)

Schedule 2021 ※3月、4月の予定は暫定です。

2月		3月		4月	
1	月	1	月	1	木 理事会
2	火	2	火	2	金 遭対担当者会議① 清掃登山①
3	水	3	水	3	土
4	木 女性部会①	4	木	4	日 登山学校理論
5	金 遭対担当者会議⑤	5	金	5	月 登山学校理論
6	土	6	土	6	火
7	日	7	日 第53期総会	7	水
8	月	8	月	8	木 組織担当者会議 女性部会②
9	火	9	火	9	金 春山合宿連絡会議
10	水	10	水	10	土
11	木	11	木 女性部会①	11	日
12	金	12	金	12	月 登山学校理論
13	土	13	土	13	火
14	日	14	日	14	水
15	月	15	月	15	木 理事会
16	火	16	火	16	金 清掃登山②
17	水	17	水	17	土 登山学校実技 MC
18	木 組織担当者会議⑩	18	木 理事会	18	日 登山学校実技 MC
19	金	19	金 自然保護部会①	19	月 登山学校理論
20	土	20	土	20	火
21	日	21	日	21	水
22	月	22	月	22	木 教育担当者会議②
23	火	23	火	23	金 清掃登山③
24	水	24	水	24	土
25	木 理事会⑮	25	木 教育担当者会議①	25	日 教育部交流山行① 登山学校実技 MC
26	金	26	金	26	月 登山学校理論
27	土	27	土	27	火
28	日 組織部交流山行②	28	日	28	水
		29	月	29	木
		30	火	30	金
		31	水		

ご意見、ご要望・投稿・写真などはメール、または県連事務所あてに郵送してください。

<http://aichirousan.web.fc2.com/> e-mail:aichirousan@gmail.com